

1. 船舶用燃料の供給量(2016年度)について

第3回「連絡調整会議」石油連盟資料より抜粋

- 船舶用燃料の供給量は、内航船・外航船向け合計で、8,724千KLとなっています。内航船向けは6割程度がHSC重油、3割程度がA重油、外航船向けはほぼ全量がHSC重油です。
- 2016年度において、船舶用燃料の供給量は、C重油生産量の5割程度、ガソリン等を含む燃料油生産量の5%程度を占めており、石油業界にとって、海運業界は重要なビジネスパートナーです。

船舶用燃料の供給量内訳(2016年度)

(千KL)

油種	内航船向け	外航船向け	合計
軽油	272	9	280
A重油	1,603	179	1,782
(平均S分)	(0.83%)	(0.41%)	(0.79%)
高硫黄C重油	2,651	4,009	6,661
(平均S分)	(2.81%)	(3.08%)	(2.97%)
合計	4,526	4,198	8,724

石油製品の生産量(輸出含む)と船舶用燃料の占める割合(2016年度)

	生産量(千KL)
ガソリン	53,715
ナフサ	20,013
ジェット	15,921
灯油	15,787
軽油	41,180
A重油	12,892
C重油	18,303
燃料油計	177,811

船舶用燃料(供給量)は、**C重油生産量の4割程度、燃料油生産量の5%程度**を占める重要なエネルギー

(注)石連調べ(供給側からの実績値)。四捨五入により数値が一致しない場合がある。